



フィリピン研修

2025年11月2日(日)～11月8日(土) 中学2年生 (全員)

いざ！
フィリピン11:45 成田空港
第2ターミナルを出発し、現地時間19:15

無事にセブ空港に到着しました。

夕食は現地のファーストフード店「Jollibee」のチキンとライスでした。7時間ほどのフライトでしたので、生徒たちは疲れ気味かと思いきや、移動のバスの中から見える現地の街の様子や風景を前に元気いっぱいでした。明日から英語Lessonです！



▲成田国際空港で出発式

英語Lesson



▲マンツーマン・レッスン



▲グループ・レッスン

研修先はサンホセ大学(University of San Jose-Recoletos)です。広大で自然豊かなキャンパスです。

生徒たちはマンツーマン・レッスン、グループ・レッスンなどを受けます。

マンツーマン・レッスンでは一人ひとりのレベルに合わせて授業が進むため、最初は「難しい」と及び腰だった生徒も、積極的に話をするように頑張っていました。生徒たちは達成感を感じているようでした。

フィリピンの先生たちはとにかく明るく朗らかでとてもフレンドリーです。突然の停電でも（フィリピンではよくあるようです）「Surprise！」と明るく声をかけてくれる先生もいて、生徒たちも安心して学習を続けることができていました。

交流会

5日目の午後、サンホセの中学生たちと交流しました。パディとの対面、アイスブレイク、英語落語や日本文化の発表、各国の遊び紹介などとても楽しい時間を過ごしました。



▲アイスブレイク

アイスブレイクでは大きな輪を2重で作り、内側に東洋生、外側に現地中学生。音楽に合わせて踊りながら、グルグル回っていきます。音楽が止まったところで自己紹介。フィリピンの中学生たちのノリよさに東洋生もびっくりです。



みんなで集合写真▶

▲英語落語を披露

どのパディも熱心に耳を傾けてくれました。ほとんど全員が前のめりに聞いてくれるので、東洋生もそれに答えようと頑張ります。

フィリピンLife

★University of San Jose-Recoletos (研修先)



▲スクールツアーの様子

宿泊先のホテルから研修先に向かう途中では現地の生活の様子を知ることができました。キャンパスには二重のゲートが設置されており、治安の厳しさもうかがえます。日本との環境の違いを知る機会になりました。

★Food Culture (食文化)

リセス（軽食を食べる休憩時間）では蒸しパンの中に豚肉が入った軽食ができました。果物や魚介類の種類も豊富で、日本では見たこともない食材も数多くありました。食事で提供されたマカロニサラダも甘く、生徒たちは予想外の味に目を丸くしていました。



▲豚まん？？？

★Activity (活動)

セブ最大のSMモールに買い物に行きました。海外での買い物は学習の成果を試すチャンスです。家族から「〇〇買ってきて」というミッションを与えられている生徒もいます。生徒たちは所狭しと歩き回り、家族へのお土産を買っていました。

▲ゲームセンター
はいずこも同じ？見慣れたスタバだけ
ど、やっぱり違う▼▲たくさんのぬいぐる
みに囲まれています

English Camp卒業式

6日目、午前中は英語レッスン、午後はReading/Writing /Speaking/Listening (4技能) のテストでした。1日10コマのレッスンを受け、英語のシャワーを浴び続けた生徒たちにとって、自分の成長を実感できるものとなっていたようです。卒業式では一人ひとりがCERTIFICATE (修了証) を受け取り、記念撮影も行いました。



今回はフィリピンを直撃した台風により、予定が大きく変更になりました。現地のチューターが来られなかったり、学校が休校になったりしました。ホテルでも台風の影響で停電があり、床が水浸しになってしまった部屋もありました。自宅が流されてしまった先生もいらっしゃいました。そのような状態であるにも関わらず、レッスンのために来校してくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。我々にはできることは多くありませんが、一日も早く元通りの生活ができるよう、願っています。